

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	・現人数で適切だと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名まで千人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	・現職員数では適切だと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・テイルーム内の配置、空間づくりを子ども達がわかりやすいように工夫しています。 ・児童の特性に応じた視覚支援をおこなっており構造化に努めております。 今後事業所内のバリアフリー化を目指していきます。	・トイレを使いにくいと感じることがあります。 ・トイレや玄関（1階）に段差があるためバリアフリー対応ではありませんが、今後も与えられた環境の中で、利用児童一人ひとりの特性に応じた環境作りや配慮を最大限できるよう努めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	・営業時間開始前後に清掃・消毒を毎日実施しております。 換気も実施しております。 児童一人ひとりがより過ごしやすい空間づくりに努めていきます。	・児童によると思います。 ・清潔ではありますが、自由スペースにマットなどを敷いてさらに居心地を良くしていきたいと思っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・刺激に敏感な児童に対しては別室を使用するように配慮しています。 ・児童の特性や状況に合わせて、個室を使用したり、パーティションを用いて落ち着いた空間を作るなど、必要に応じた環境設定をおこなっております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	6	1	・業務が効率よく進むように職員同士意見を出し合い、討議しております。 また、目標設定と振り返りをおこない、業務改善に努めてまいります。	・全員には伝わっていないと感じることがあるので、周知徹底に努めてまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・毎年アンケートを実施し、ご意見やご意向を把握することにより、業務改善につなげております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・日々のミーティングやリフレクション会議をおこない、職員全員で意見を出し合う機会を設け業務改善につなげていけるよう心がけています。	・業務改善につなげるところまでできていないことがあるので意識して取り組んでいきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	・現時点では第三者評価は実施できておりません。	・第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	・年間予定を立て、事業所内の職員研修は定期的に行っております。 また外部研修も掲示し、受講する機会をつくっております。	・研修の機会はあるものの、対象が全員ではないと思います。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・公式Webサイトにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっております。 また、アセスメントにて保護者様のニーズを把握、分析し、今後の課題に沿った計画を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・職員会議をおこない、共通理解のもとで、児童の特性に合わせた計画を作成しております。 また相談支援員など関係機関の意見も踏まえた検討をおこない、最善の計画になるよう努めております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・職員間でこまめな情報共有をおこない、計画に沿った支援に努めております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・社内共通様式で標準化されたアセスメントシートを使用しております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	・ガイドラインに沿って、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」を踏まえ、児童の特性に応じた必要な項目を設定し具体的な支援内容を設定しております。	・関係機関と連携し、情報共有に努めてまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・毎日の活動内容や、週末や長期休みの利用時、児童に必要な課題と楽しんでもらわれる活動とメリハリをつけ、チームで活動プログラムを立案し作成しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・日常的には学習を中心とした支援をおこなっていますが、さまざま運動療育や季節（時期）にあった製作活動、遊びイベントをおこなっており、活動プログラムが固定化しないよう工夫を回っております。	・長期休み等は、活動プログラムに変化を付けたりできるが、普段はどうしても固定化してきてしまうと感じることもあります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・児童の状況に応じて個別に対応する時間をつくっております。 個別活動にて個の成長を支援する場面と集団の中で社会性を育む場面と両面で計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・毎朝のミーティングで確認し、その他の共有事項があればその都度話し合えるようにしています。 ・勤務時間・業務の都合により全員で参加できない場合もあるので、個別にて口頭連絡や連絡ノート等で工夫し、チームで共有ができるようにしております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	・その日のうちに話し合えなければ翌日のミーティングで報告や共有を行っています。 ・ミーティングノートを活用し、全職員での周知を心がけています。	・送迎業務があり、その日のうちは難しいので個々に伝えたり、次の日に伝えたりしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・日々の療育内容・体調・生活状況の変化等の気づいた点も記録し、職員間・保護者様に報告しております。 また、保護者様との連絡や家族支援により、日々の利用児童に関する情報をいただくことで検証・改善につなげております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・定期的なモニタリング・面談の実施で、保護者様からのご要望を取り入れながら、児童の状況把握・見直しを行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7		・ガイドラインに沿い、支援に必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容の設定に努めております。 また日々の打ち合わせや会議で、児童の成長度合い・新しい課題を共有し、支援内容の適性を確認しております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・自己選択ができるように、個々の児童の特性に応じた支援や声かけを心がけています。 児童の意志を尊重した自己決定ができるように支援しております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	7		・児童の状況に精通している児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・各関係機関と連絡を取り合い、共通理解を持つて体制を整えています。	・現在実際には関係機関との連携は少ない状況ですので、積極的に地域の関係機関との連携が取れるよう努めさせていただきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・送迎時の機会に学校が発行している行事予定をいただいたり、情報共有に努めております。 また、変更の際は、各学校と連絡調整をこまめにおこなっております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	・担当者会議を通して支援内容等の情報共有と相互理解を図り、支援の方針が統一されるよう心がけていきます。	・該当児童がいないため、現時点では情報共有の機会はありません ・現状では就学後の情報共有が十分ではなと考えられるので、今後検討していきたいと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	・現在はまだ対象児童がおりません。	・該当する卒業予定の児童がいないので提供の機会がありません ・今後、対象となる児童が卒業する際には、関係機関等へ必要な情報を提供し、移行先での活動に役立てられるように努めます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	6	・事業所を併用している児童については担当者会議等で情報共有に努め、相談支援専門員を通して様子を確認したり、必要に応じて助言を受けております。	・機会がありませんでしたので今後検討していきたいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7	・個人情報や保護者様のご意向も踏まえ、活動する機会をつくってはいませんが、必要に応じて今後検討してまいります。	・外部児童との交流はありませんでした。 ・児童の現状や保護者様のご意見等を踏まえて、必要に応じて交流会等の機会を検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4	・事業所の代表者が地域の協議会に参加し、職員間で情報共有をおこなっております。	・今後も研修案内があれば必ず参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・送迎時の機会等、家族支援や電話相談を活用して保護者様との情報交換をおこない、児童についての共通理解を深めております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	・保護者様の子育てでのお悩みやご相談に寄り添った支援を心掛け、保護者様に支援内容を深くご理解いただき、お悩みの解決手段や、児童の成長のために、ご家庭でできる支援方法の提案をさせていただいております。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約時には運営規程、利用者負担等について丁寧な説明に努めております。 また、契約時のみならず保護者様のご要望があるときは、再度わかりやすく丁寧に説明しております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・面談や担当者会議を通して支援内容等の情報共有と相互理解を図り、児童や保護者様の意志を尊重した計画作成に努めております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・保護者様には面談等のお時間を作っていただき、支援内容の説明をおこない同意をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・保護者様からのお悩みやお困りことは家族支援や電話連絡、面談等にて、相談に応じた助言をおこなっております。	
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	・個人情報の関係や保護者様のご意向も踏まえ、活動する機会を設けてはいますが、必要に応じて今後検討してまいります。 きょうだい児同士での交流する場合は活動の中で設け、支援しております。	・児童の現状や保護者様のご意見等を踏まえて、必要に応じて交流会等の機会を検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・苦情には窓口と責任者を設け、利用開始時にお知らせしております。 また毎日の利用の中でのご意見、苦情には、その日のうちに事業所内で報道相をおこない、改善策を保護者様にご提案しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・公式WebサイトやSNS等にて事業所の様子をお伝えしております。 また年4回「COMPASS だより」を季刊発行しております。 連絡帳アプリにて行事予定やお知らせ、毎月の様子を写真と共にわかりやすく事業所便りとして掲載しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・個人情報の取扱いは鍵付き書庫にて保管しています。 今後とも取り扱いに注意をはらい、書庫の施設管理記録等も作成し管理してまいります。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・児童には状況や特性に配慮した伝達方法を用いております。 保護者様には連絡帳アプリを始め、口頭での伝達や必要時には面談をおこない、分かりやすい言葉で共通理解につながるよう心がけております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	・現時点では事業所内行事に地域住民を招待する企画は実施できていません。	・個人情報の保護の観点からも保護者様全員のご理解をいただくことや、説明が難しい部分もあるため、慎重に検討してまいります。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			・各種マニュアルを策定するとともに事業所内に掲示し、契約時に保護者様にご案内させていただきます。 また発生を想定した定期的な訓練も実施しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。			・BCPを策定しております。 また、地震、火災、風水害、不審者対応マニュアルを策定し、事業所内に掲示しており、発生を想定した避難訓練を毎年実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・アセスメントをおこなう際に、服薬や予防接種、てんかん発作等の児童の状況を確認しております。 また、服薬に関しては変更もありますので病院受診後には保護者様に都度確認をおこなっております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・現在、医師の指示書が必要なアレルギーのある児童がおりません。 今後、アレルギー等のある児童の受け入れの場合は、医師と連携し指示書に基づく正しい対応を熟知して、安全な支援に取り組んでまいります。	
非常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・安全計画に沿って、研修や訓練をおこなっております。	
	51	こどもの安全確保に關して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・契約時や必要時に、安全確保に關した取組内容について丁寧に説明しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・発生時には詳細を記録に残し、職員間で共有したのち、再発防止に向けた改善をおこない定期的に振り返りをおこなっております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・事業所内で職員研修を実施し、虐待防止について周知に努めております。 また代表者が外部研修にも参加し、職員間で共有しております。	
	54	どのような場面にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・原則として契約書で身体拘束は禁止となっておりますが、止むを得ず必要となる場合には、児童や保護者様に十分なご説明をおこない、承諾を得て、計画に記載するようにはしております。	